

特集

祝優勝



©KAWASAKI FRONTALE

川崎フロンターレ公式ファンクラブ
川崎フロンターレ後援会

詳細・他記事等

- ◆ まち・ひと・多面体
 - ・今をいける「グループリコ」
 - ・人と自然との共生を図る「早野聖地公園里山ボランティア」
- ◆ 施設めぐり
 - ・川崎市立日本民家園 古民家の野外博物館
 - ・カワスイ 川崎水族館 駅前にある「世界の美しい水辺」
- ◆ 財団からのお知らせ
 - ・お楽しみコーナー クイズに答えよう!

◀ 1988年
油彩



<川崎百景>さとう菊夫シリーズ ⑯ 南嶺山香林寺

麻生区細山に禅寺の臨済宗建長寺派に属す南嶺山香林寺がある。細山地域は、昭和初頭に「農事特別奨励地」指定を受け、モデル農村としての歩みを続けてきた。

昭和30年代に入り、二つの宅地開発事業に続き、三つの土地区画整理事業がすすめられ、田畠や山林は住宅地へと姿を変えてきた。香林寺の境内には、この五つの事業にちなんで、先祖と生きものへの供養と現代人の心のよりどころを求めた「五重塔」が建立され、多摩丘陵の新しいシンボルが誕生した。

【20数年～40数年前の川崎の四季、田園風景、名所、茅葺の民家、寺社仏閣等を描いてこられた、さとう菊夫さんの作品をシリーズでお届けします。シリーズ①～⑫は209号～220号、⑬～⑮は233号～235号】



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

<http://www.kpal.or.jp/> E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

地域における注目すべき取組

今をいける 「グループプリコ」



約束の時間に、高津区にある川崎市生活文化会館「てくのかわさき」の談話室前に行くと、楽しそうな話し声と朗らかな笑い声が聞こえてきました。お稽古終わりのメンバーの皆さんと挨拶を交わすと、充実した時間を過ごしたことがマスク越しでも分かりました。

グループプリコは、いけばな、フラワーアレンジメント、水引のお稽古を通して、日常生活を心豊かに彩ることを目指しています。代表の岡本理瑚さん(草月流師範会理事)にお話を伺いました。

作品は今の自分

グループプリコではカテゴリ毎にお稽古の時間を決めているのではなく、それぞれが行きたい日時を申告して参加するスタイルです。上級者から初心者までさまざまなメンバーがいます。

「お稽古は、心のままに花の生命力と対峙し、今の自分を出し切ることです。上手にいけようと背伸びしてもいけません。『私はなんと情けないのかしら』でもいいのです。そのような気

持ちのときには弱々しい作品に見えますが、『それでいいの。これが今のあなたの十分強い作品よ』と話します」と岡本さん。「でも、もっと強さがほしい」「すっきりしたい」とご要望があれば、「では……」とアドバイスするそうです。

また、同じ日に同じ花材と器で2回いけると、1度目と2度目では

全く違う雰囲気の仕上がりになる



▲ 社中展のいけばな
そうです。“今”は一度きり。花をいける行為を通して、その時の自分の心までが見えてくるようですね。

自分を尊重しましょう

「美の感じ方は人それぞれ違います。誰がつくっても同じになるものは面白くないですよね」と取り出した写真は、ひな祭り用のリースでした。同じ色の水引でお内裏様とお雛様が形作られているほかは全部違い、一つひとつの作品がとても個性的です。

「ご自分の美意識を大事にしてほしいのです。自分のことは簡単には分かりません。だから自分と向き合う楽しさがあります。自分がことが大事だと思えるようになると、家族や周りの人を見る視点も変わりますしね」という言葉は全てに通じるのではないかでしょうか。

地域に密着した活動で笑顔を広める

「花との出会い」をご縁として、ボランティアでいけばなやフラワーアレンジメントの体験教室も実施しています。

高齢者福祉施設からは直接電話で依頼され、デイサービス利用者を対象にフラワーアレンジメント講座を開催しています。きれいなお花は心を癒し、晴れ晴れとした気持ちにしてくれます。作品を家に持ち帰れば、「おばあちゃんが作ったの? 美しいねえ」とご家族との会話も弾みます。「簡単な



▲ てくのまつり展示の水引

水引作品もできるかもしれないですね」と今後の構想を話す岡本さんはとても楽しそうです。

刺激し合い、共に学び続ける

グループプリコのメンバーは皆さんとも前向きで熱心! 川崎で教室を始めてからずっと来ている方も多いです。介護やお孫さんのお世話などで忙しい中、お稽古で花と向き合う時間は貴重なリフレッシュの時間なのだと思います。

コロナ禍の外出制限で教室に集まることが難しい時期には、自宅でいけた花の画像をメールでやり取りし、添削指導のような形でのお稽古となりました。「前後左右の写真から見え隠れする作品の主張がよくわかります。実物よりも迫力があるように見えるものもあり、新しい発見でした。素晴らしいお仲間と刺激を与え合い、多くのことを学ばせてもらっています。私は本当に幸せです」と、コロナ禍を嘆くのではなく、明るい声でそう話す岡本さんは“今をいける”を体現していると感じました。

■ 問合せ

「グループプリコ」代表 岡本理瑚

E-mail:

kouri.sogetsu1868.docomo.ne.jp

ホームページはこちら→



社会貢献・継続的な活動等

まち・ひと・多面体

人と自然との共生を図る 「早野聖地公園里山ボランティア」

早野聖地公園里山ボランティア(以下、同会と略します)は、里山を将来にわたり保全・管理し、地域振興と早野の文化を継承していき、人と自然の共生を図ることを活動方針として1999(平成11)年に発足し、現在66名が活動しています。取材した日の参加者は33名、世田谷や八王子からの参加者もいるそうです。

森林浴をしながら大汗をかこう

同会の活動内容は大きく4つあります。

1. 里山再生=伐って育てる森(里山の若返り) ⇒生物多様性の向上を図る

光があたり、風通しがよくなるように里山の下草刈りをするほか、公園内のどんぐりから苗木を育て、古木を切り出したところに植樹するなど、里山の若返りを図ります。



2. 炭焼き(伐採材の活用)=循環利用

原本を切り出し炭に焼き、その炭を湿地帯の水質浄化や畑の土壤改良に利用します。炭は早野聖地公園の「お彼岸バザー」にも出品し、好評を得ています。

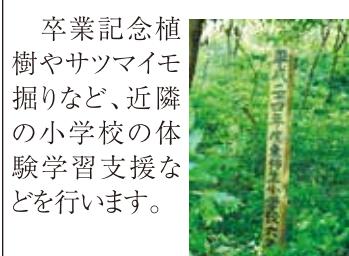


3. 農業体験

畑や花壇の手入れ、間伐材を利用したキノコ類の栽培などの活動をします。



4. 地域とのふれあい



卒業記念植樹やサツマイモ掘りなど、近隣の小学校の体験学習支援などを行います。

ナラ枯れから里山を守る

2020年はコロナ禍による自粛や長雨で活動できない日々が続きました。そのような中で直面したのがナラ枯れです。ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシ(以下、カシナガと略します)が病原菌を伝播することで起こる樹木の伝染病です。

里山で初めてナラ枯れが発見されてから1カ月で10倍以上の勢いで見つかり、同会の小泉清会長は、「ナラ枯れの進行が思った以上に速い」と顔を曇らせます。黒川炭が有名な



▲カシナガがあけた穴とプラス(木くずと排泄物が混ざった粉状のもの)

この辺りは広葉樹林の二次林(人工林)で、薪炭材の供給等を通じて地域住民に利用されてきました。高度経済成長を経てしばらく放置された里山には比較的大齢の大径木が多く、カシナガの生息に適しているのです。

同会はすぐさま対策に乗り出しました。ナラ枯れについて学び、被害木は即伐採を決定。悪いのは虫ではなく虫が運ぶ病原菌だと分かっていても、カシナガが飛散するのは困ります。伐採後は根本部分を養生シートで覆い、虫が嫌がる炭焼き時の木酢液(原液)をシート内に注入。伐採木もブルー シートで密閉します。

普段から木を伐る活動をしているメンバーでも、被害木だけを切り倒すのは至難の業です。周囲への影響を抑えるために枝打ちし、切り倒すときにはロープで引っ張り、望ましい方向に倒れるよう導きます。大勢で力を合わせての大仕事です。

大人の秘密基地よ いつまでも

小泉会長に夢を伺ったところ、「いつまでも元気で、『大人の秘密基地』でありたいな」とのお答えでした。

斜面を歩き回り、重い荷物を運び、汗をかいて作業しているのに、なんだかおしゃれ。メンバーからは大人の余裕、懐の深さを感じます。そんな大人の秘密基地で、皆さまがこれからもずっと笑顔で過ごされますように。

2021年の炭焼きは、1月9日から2月6日の毎週土曜日に行い、2月22日に清掃活動等を行います。

炭焼き見学をご希望の方、同会の活動に興味を持たれた方はぜひ下記までご連絡ください。

■ 問合せ

早野聖地公園里山ボランティア事務局

〒215-0016 川崎市麻生区早野732

早野聖地公園 靈園事務所内

TEL 044-987-6120 FAX 044-986-0813



▲シートで覆われた根本



▲見守るほうも手に汗握る高所での枝打ち



▲ロープを引くメンバーと声を掛け合い切り倒す



▲伐採木を引き上げ、炭焼き小屋まで運ぶ



▲大人のコーヒー
ウォーマーは
ドイツ製

特集

川崎フロンターレ公式ファンクラブ

川崎フロンターレ 後援会

2年ぶり3度目のリーグ優勝！ J1初の12連勝！！ 新型コロナウィルスの影響で、働き方や学び方に大きな変革が起きた2020年。突然の変化に戸惑い、未曾有の事態に不安を覚える毎日。負けない川崎フロンターレの快進撃は、元気と明日への希望を私たちに与え続けてくれました。

今号では、川崎市民の誇りである川崎フロンターレの活躍を支え、フロンターレファンをサポートする方々、川崎フロンターレにとってなくてはならない存在である「川崎フロンターレ後援会」についてご紹介します。

(写真提供:川崎フロンターレ／川崎フロンターレ後援会)



◇地域の活性化◇ 支援事業

- ・市内商店街へのタペストリー掲出
- ・市内施設への横断幕設置
- ・ラッピングバスの運行

市内を爽やかなフロンターレ・ブルーで装飾し、地域活性化に寄与し、川崎フロンターレの価値を高めます。



◇青少年の夢を育む◇ 支援事業

キャリア教育の一貫として実施されている職場体験学習に協力し、フロンタウンさぎぬまでの職場体験に市内公立中学校（毎年 10 校ほど）の生徒を受け入れています。2020 年は新型コロナウイルスの影響により職場体験は実施せず、市内公立中学校（1 校）において講演会を開催しました。



◇ホームゲームサポート◇ ファンクラブ事業

競技場外のテントにて、後援会入会・更新受付を行っています。その他にも各種お問い合わせの対応や、後援会会員の限定イベント「選手サイン抽選」「スタジアムウォーク」「ウォーミングアップ見学」等を企画し、お客様が不安なく楽しめるスタジアムづくりをしております。



◇ファン感謝イベント◇ ファンクラブ事業

後援会会員のみ参加可能なイベント、フロンターレ名物「ファン感謝デー（通称 ファン感）」を開催します。内容は、選手の素顔が見られるステージイベントコーナー、飲食コーナー、アトラクションコーナー、ワークショップコーナーなど盛りだくさん！ 2020 年は時勢を考慮しオンラインで開催しました。



高梨直紀さん 福田敏之事務局長

「川崎フロンターレ後援会」と聞いて、皆さんはどのような活動を行っているかわかりますか？ ほとんどの方がどのような活動を行っているのかイメージが湧かないのではないでしょうか。

私たち川崎フロンターレ後援会では主に、会員獲得や会員特典などのサービスを提供する「ファンクラブ事業」、市内商店街へのタペストリーの掲出やラッピングバスの運行を行い川崎フロンターレの価値を高める「支援事業」、この2つの事業を行っております。

川崎フロンターレを応援する人を増やし会員の皆さまの満足度を高め、横断幕等の装飾で街を青く染めフロンターレの価値を高める。これからもサポーターと川崎フロンターレの懸け橋として頑張っていきたいです。

■問合せ

川崎フロンターレ公式ファンクラブ

川崎フロンターレ後援会 事務所

〒213-0013

川崎市高津区末長 4-8-52 1 階

TEL 03-6277-0254

月～金 10:00 ~ 18:00

土日祝およびホームゲーム等の翌月曜休み

ホームページは
こちらから→



入会は
こちらから→



©KAWASAKI FRONTALE

施設めぐり

市内公的施設の紹介

多摩区

川崎市立日本民家園

古民家の野外博物館

川崎市立日本民家園は、消滅しつつある古民家を長く将来に残すことを目的に1967(昭和42)年に開園しました。生田緑地内の広大な敷地に、東日本の代表的な民家をはじめ、水車小屋、高倉、農村歌舞伎舞台など25件の建物が移築復原されています。



▲本館(正門)を出て最初のエリア
「宿場」入口

おすすめは展示室から外へ

券売所のある本館(正門)には、二つの展示室があります。常設展示室では古民家の基本的な知識を学ぶことができます。企画展示室では年に2回、民具や建築に関わる企画展示が行われます。それに併せて、一般向け(月1)と子ども向け(隔月)の企画展示解説を実施しています。予約不要で参加でき、実施日はホームページで確認できます。

園内にも日本語と英語の解説板がありますが、まず展示室で予備知識を仕入れてから外に出ると、地域の風土による素材やつくりの違いが分かります。実際に建物を見て「なるほど!」と感心することが多くなり、より楽しく見学できるのではないかでしょうか。

企画展「暑さ寒さも彼岸まで-民家と四季-」



2020年10月1日(木)
～
2021年5月30日(日)
気候に合わせて工夫をこらしてきた昔の人々の生活が見えてきます。

特別展示「雪囲いー旧山田家ー」

2020年11月22日(日)～2021年3月7日(日)
家を雪から守るために古くから雪国で行われていた伝統的な雪囲いを、旧山田家で再現します。

昔の人の息遣いを伝える

園路を歩いていると、なんだか懐かしい気持ちになります。道端には程よく苔むした道祖神、馬頭観音などが鎮座し、民話の村の小径を歩いているようです。自動販売機は板で囲うなど、世界観を損なわないための細やかな配慮に感心しました。

宿屋と薬屋だった家には宿屋の許可証や薬箪笥があります。家にまつわる民具を併せて展示し、折々に年中行事展示を行っています。祈りと感謝を込めた年中行事は現在も続いているものがあり、当時を身近に感じます。

小田急線「向ヶ丘遊園」駅下車
南口より徒歩13分

ボランティア団体「炉端の会」による火焚きや、市民活動団体「民具製作技術保存会」による竹細工、わら細工、機織りの製作活動は、暮らしを紹介するだけではなく、家を維持する上で大切な役割も担います。

茅葺屋根は苔やキノコが生えてしまうこともあります。屋根の日当たりと風通しを確保するために高木の手入れなども行います。家の中や外で人が動き、人の手を入れ続けることで、古民家は現役に近い状態で保たれているのです。



学習と憩いの場として

日本民家園は、スタッフからボランティアまで多くの方の活躍によって、ただ古い建物が並んでいるのではなく、その家で生活している人の気配を感じるような野外博物館となっています。

重厚な合掌造りの民家を見上げ、「うわあ!」「感動だあ」という子どもたちの声に微笑む広報担当の江中佐知子さん。「四季折々の楽しみがありますが、私は特に芽吹きの頃が好きです。目には緑のグラデーション、耳にはウグイスのさえずりが降り注ぎ、気持ちがウキウキします。緑の中にある博物館です。お天気のよい日の散歩は気持ちよく、気分転換にお勧めです。ぜひ足をお運びください」と話します。

楽しいイベントも企画されますので、ホームページやツイッターをチェックしてみてください。新しい年の始まりに、静かで穏やかな空気に包まれ、前の時代を生きた人々の暮らしに思いをはせてみてはいかがでしょうか。



着物姿の子どもが走っている
左側は多摩川沿いの菅に
あつた船頭小屋。増水時に
は担いで移動できる。

■問合せ：川崎市立日本民家園

〒214-0032

川崎市多摩区枡形7-1-1

TEL 044-922-2181

ホームページはこちらから →



川崎区

カワスイ 川崎水族館

駅前にある「世界の美しい水辺」

カワスイは2020(令和2)年7月に川崎ルフロン内にオープンした都市型水族館です。「世界の美しい水辺」をテーマに、世界のさまざまな環境に暮らす生きものが最先端の技術を駆使して展示され、川崎にいながら世界の水辺を散歩するように楽しむことができます。(川崎ルフロン10階の)入口から館内に入ると、壁面のチョークアートが非日常を演出し、水辺の旅が始まります。

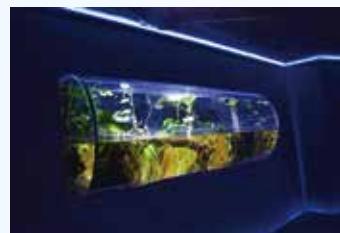
多摩川からアジア、アフリカ、 はるか南米アマゾンの熱帯雨林まで

6つの展示ゾーンのうち、まずは地元川崎を流れる「多摩川ゾーン」です。手前のアクリル水槽に多摩川に生息する魚が泳ぎ、間には実際に多摩川に生えている植物を使った植栽、奥のLEDスクリーンには実際の多摩川の映像が広がり、ナチュラルなライトの下に多摩川の水辺が再現されています。身近な多摩川ですが、通常は川の中の魚を横から見ることなどありません。泳ぐ魚と水越しに見える景色は、水中から鑑賞しているような不思議な感覚になります。多摩川ゾーンの植栽は生の木なので、成長していく植物も楽しめます。



▲ 多摩川ゾーン 3本並んだ水槽には、左から右へ上流～下流の生きものを展示している。

カワスイでは、時間により異なる空間演出が施され、訪れる度に新しい発見があります。あなたのお気に入りの鑑賞スポットを見つけてみませんか。



▲ オセアニア・アジアゾーン

島と島をつなぐ海のようなブルーが印象的。壁面から飛び出す水槽は、下からも観察できる。



▲ アフリカゾーン

ベースカラーのオレンジと赤はアフリカの大地と太陽。カラフルな魚たちが迎えてくれる。



▼ パノラマスクリーンゾーン

ダイナミックなパノラマスクリーンでアマゾン川に暮らす生きものと出会う。カワイルカに手を振つたら、振り返してくれました♪



JR川崎駅東口より徒歩1分
京浜急行川崎駅より徒歩5分



▲ 南アメリカゾーン

パンタナルエリアでは南米最大の湿原を、レンソイスエリアでは不思議な砂丘の湖を再現。



▲ アマゾンゾーン

世界最大の淡水魚ピラルクが泳ぐ大水槽。スコールや霧を再現し、熱帯雨林を体感できる。

世界初・日本初の最先端技術

カワスイでは、「パノラマスクリーンゾーン」のデジタル動物展示システムの常設展示(日本初)をはじめ、最先端技術で自然や生きものの魅力を伝えています。

「QR魚名板」は、スマートフォン等で各水槽に設置されているQRコードを読み込むと生きものの名前と情報が表示されます。ゾーンを選択すると、これまでに見てきたゾーンやこれから行くゾーンの生きものの情報も得ることができます。



▲ QR魚名板であなたも生きもの博士

リンネレンズスクリーンは、4K水中カメラのライブ映像をAIでリアルタイムに解析し、種名と解説をモニターに自動表示します(世界初導入)。来館者の知的好奇心をくすぐる仕掛けがいっぱいです。

水族館とも動物園ともちょっと違う

既存の商業施設の中に作られたカワスイは、さまざまな制約がありました。床下にチューブ類を通すため低くなってしまう天井や排水施設など、設計から非常に苦労したそうです。広報の河田鈴さんは、「いちばん大変だったのは耐荷重です。いかに少ない水で皆さまに楽しんでいただくか、生きものを魅力的に見せるかと工夫を重ねました。新型コロナによる影響もありましたが、無事にお客さまをお迎えすることができ、楽しんでいただけて大変嬉しいです」と話します。

ピラルクカレーが人気の「こもれびカフェ(9F)」、品揃え豊富な「カワスイ オフィシャルショップ」など、いろいろな面から楽しめます。バックヤードツアーも好評です(詳細はホームページをご覧ください)。魚を見るだけにとどまらないカワスイの魅力を皆さまもぜひ体感してください。

■問合せ：カワスイ 川崎水族館

〒210-0024

川崎市川崎区日進町1-11

川崎ルフロン9-10階

TEL 044-222-3207

昼カワスイ 10時～17時(最終入館16時)

夜カワスイ 18時～22時(最終入館21時)



ホームページは
こちらから



全国9万人の学生が
自分のペースで学ぶ
BSテレビ・BSラジオ
インターネット
スクーリング
による授業

一流教授・講師による
多様で充実した授業
放送授業 300科目
面接授業 3000科目

 放送大学

【2021年度4月入学】
出願期間:
2020年11月26日
～
2021年3月16日

正規の通信制大学

学位取得・資格取得・科目履修ができる

放送大学

東京渋谷学習センター

渋谷駅徒歩5分(東急プラザ西側) 渋谷区道玄坂1-10-7 TEL 03-5428-3011

財団情報

生涯学習情報メールマガジン

「KSJ Mail News」登録受付中！！

当財団主催イベントの最新情報や、
生涯学習プラザの施設案内などを
月1回お届けします。

お申込みはこちらから



◆お楽しみコーナー

Stage Up 236号
クイズに答えよう！



生田緑地にある川崎市立日本民家園は1967

(昭和42)年に開園した〇〇〇の野外博物館です。

下の〇にあてはまる言葉を入れてください。

『〇〇〇の野外博物館』 ※ヒント p.6

応募方法

①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
⑤今号の誌面でよかつた記事(理由)を書いて、はがき、
FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2021年2月10日(水)必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈
(発表は発送に代えさせていただきます)



〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up(ステージアップ)担当
Eメール:stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報は、発送業務以外の目的では使用しません。

☆235号のクイズの答え・・・夢

Frontale
川崎フロンターレ
公式ファンクラブ
2021シーズン
会員募集中!
選べる入会特典
エコバッグ
グッズ
クーポン
会員特典が選べるのは
後援会マイページだ!
PUMA or
オフィシャルサプライヤーであるプーマとの
コラボエコバッグ
アスース・ネロでお好みの
グッズを購入できます
入会特典に付いて詳しくは
コチラへアクセス!

川崎フロンターレ後援会事務局 03-6277-0254 川崎フロンターレ後援会